

1. 科目名（単位数）	情報科指導法Ⅰ（2単位）	3. 科目番号	EDIT3344
2. 授業担当教員	森 正人		
4. 授業形態	講義および演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本講義は、高等学校教諭免許状「情報」を取得しようとする学生を対象とし、高等学校・教科「情報」の指導法の基本的事項について学習する。「情報科指導法Ⅰ」では、教科「情報」の設定の趣旨や、科目のねらいを理解するとともに、情報教育の3つの目標である、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための具体的な授業展開のしかたについて、実習を通して具体的に学習する。		
8. 学習目標	1. 教科「情報」の設定の趣旨を説明できるか。 2. 情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための授業展開を、模擬授業等で展開することができるか。		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	データ処理実習において、処理結果等のファイルの提出を求める。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 『高等学校学習指導要領解説情報編』文部科学省。2022 年。 高等学校教科書 最新 情報Ⅰ（実教出版）		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教科「情報」の設定の趣旨を説明できるか。 2. 情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成するための授業展開を、模擬授業等で展開することができるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 平常点(授業への積極的な参加・小テスト・レポート等) 50% 2. 最終考課(テストもしくは最終課題) 50%		
12. 受講生へのメッセージ	教科「情報」は、新しく導入された教科であるため、学校教育現場への専門の教員の配置が不十分な教科です。そのため、学生諸君も、きちんとした授業を受けてこなかった可能性の高い教科でもあります。また、「情報」という学問分野は、非常に守備範囲が広く、個々の分野に関して場当たりの学習を行っても、全体像は見えてきません。このような状況では、やはり基礎理論をきちんと理解して、それを元に体系的に理解していくのが一番です。内容的には、理論的学習が大きなウェイトを占めますが、頑張っについてきて下さい。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション	事前学習	シラバスと指定教科書の内容を確認し、今後の学習事項について把握する。
		事後学習	オリエンテーションで学習した重要事項を学習ノート等に整理し、記憶の定着を促す。
第2回	情報科教育への考え方	事前学習	オリエンテーションで学習した重要事項を学習ノート等に整理し、記憶の定着を促す。
		事後学習	これまでの、高校での情報の授業について思い出し、皆の前で発表できるようにしておく。
第3回	教科「情報」の理念と設立の経緯	事前学習	「情報科設置の経緯と趣旨」の内容を教科書及び配布資料で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
		事後学習	「情報科設置の経緯と趣旨」を再読し、学習内容の理解を深めて記憶の定着を促す
第4回	情報科の授業はどんな授業か また学習評価の考え方について	事前学習	教科「情報」の特徴について、教科書で確認し、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
		事後学習	教科「情報」の特徴について、授業中に学んだことをまとめたノートを再読し、学習内容の理解を深めて記憶の定着を促す。
第5回	情報教育の現場について調査	事前学習	情報教育の現場について下調べする。
		事後学習	調査した教育技術のうち、興味の湧いたものを数点、選び、レポートにまとめる。
第6回	情報教育の現場について報告・発表	事前学習	レポートを完成させる。
		事後学習	講評に基づいて、レポートを修正する。
第7回	情報社会に参画する態度に関する調査 電子黒板、電子教科書など、情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	選んだテーマについて、発表のための調査・発表資料を集める。
		事後学習	好きなテーマを選び、教科書及び配布資料を使って、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第8回	模擬授業 主に「情報社会に参画する態度」「情報活用の実践力」を育成するための授業展開ができるかどうか、また学習評価の実践について	事前学習	発表に向けたリハーサルをする。
		事後学習	発表中に教員、他の学生から言われた意見を参考に、自分の発表資料を修正する。

第 9 回	「情報の科学的理解」に関する調査 タブレット、Web 教材(スクラッチ)など、情報機器と電子教材の活用法について紹介する。	事前学習	図書館・ネットなどで「情報の科学的理解」分野から選んだテーマについて、発表のための調査・発表資料を集める。
		事後学習	「情報の科学的理解」分野から好きなテーマを選び、教科書及び配布資料を使って、本時の学習内容と特に理解を要する箇所の把握に努める。
第 1 0 回	模擬授業 主に「情報の科学的な理解」「情報活用の実践力」を育成するための授業展開ができるかどうか、また学習評価の実践について	事前学習	発表に向けたリハーサルをする。
		事後学習	発表中に教員、他の学生から言われた意見を参考に、自分の発表資料を修正する。
第 1 1 回	学習指導案の作成 情報機器と電子教材を積極的に活用するような指導案を作成する	事前学習	学習指導案のファイルを持ち帰り、自分なりに作成して持参する。
		事後学習	授業中の指導をもとに、学習指導案を完成させる。
第 1 2 回	学習指導案についての討論・修正	事前学習	学習指導案についての討論に向けて、自分の授業案について他の人に説明する準備をする。
		事後学習	発表中に教員、他の学生から言われた意見を参考に、自分の発表資料を修正する。
第 1 3 回	模擬授業の準備	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	模擬授業中に教員、他の学生から言われた意見を参考に、自分の学習指導案を修正する。
第 1 4 回	模擬授業 情報機器と電子教材を積極的に利用する模擬授業を推奨する。	事前学習	模擬授業の発表準備をする。
		事後学習	模擬授業中に教員、他の学生から言われた意見を参考に、自分の学習指導案を修正する。
第 1 5 回	まとめ	事前学習	これまでの学習内容の中から理解できていない項目がないか教科書及びノート等を見直して確認する。
		事後学習	再学習があると判明した事項について理解を深め、記憶の定着を促す。
期末試験			